

ちとせ 市議会だより

No.185



秋の支笏（北斗1丁目 武田 卓也 さん）

樽前山お花畑コースから見た、燃える様な紅葉の奥に浮かぶ島は紋別岳。
この日の支笏湖は厚い霧に覆われ、いつもとは違う幻想的な景色が広がって
いました。
（撮影者のコメント）

令和元年 第3回（9月） 定例会

目次

- 定例会のあらまし、各委員会の開催状況 … 2～4 ページ
- 一般質問 …… 5～11 ページ
- 決算特別委員会質疑等、議決結果、議案の賛否 …… 12～15 ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 …… 16 ページ

定

例会のあらまし

●平成30年度各会計決算を認定

令和元年第3回定例会は、9月17日から10月15日までの29日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和元年度各会計補正予算、条例の制定など、報告10件、議案19件、請願1件、陳情1件が提出されました。

また、平成30年度一般会計、6特別会計および3公営企業会計の歳入歳出決算の認定10件が提出されました。

このうち、補正予算の議案2件は、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。認定10件については、21人の委員で構成する決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。また、追加議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、継続審査となった3件を除く各議案等を、原案のとおり可決・同意・認定しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

◆一般会計補正予算(第2回)

歳入歳出予算の総額に
2億9千928万4千円を追加

主な補正予算の内容

・心のふるさと千歳基金積立金
5千867万2千円

・千歳アイヌ文化国際交流事業費
279万6千円

・過年度税等還付金
4千536万3千円

・地域福祉振興基金積立金
104万6千円

・子育てのための施設等利用給付事業費
100万5千円

・農業振興基金積立金
151万3千円

・千歳アイヌ文化観光客受入環境整備事業費
5千570万8千円

・道路維持管理業務経費
5千931万1千円

・河川維持補修業務経費
104万円

・消防車両等更新事業費
6千825万9千円

・修学支援事業費
388万円

◆介護保険特別会計補正予算(第2回)

歳入歳出予算の総額に
8千504万4千円を追加

・介護給付費準備基金積立金
512万1千円

・国庫支出金等精算返還金
7千992万3千円

条例

◆千歳市功労者表彰条例の一部を改正する条例

功労者に対する特別待遇の停止事由に所要の改正を

行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、印鑑登録の廃止事由に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市職員の分限及び懲戒に関する条例等の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例

会計年度任用職員の給与及び費用弁償について必要な事項を定めるために制定。

◆千歳市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定地域型保育事業における特定教育・保育施設等との連携及び利用者負担額等に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業者等における保育所等との連携、連携施設の特例並びに連携施設及び食事の提供の経過措置に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行い、並びに児童福祉法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市認定こども園条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳都市計画土地地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例

土地地区画整理法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市公営企業に従事する企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、引用条文に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市消防団条例の一部を改正する条例

消防団員の欠格条項に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市火災予防条例の一部を改正する条例

消防法施行令の一部改正に伴い、消火器具の設置に係る防火対象物に所要の改正を行うために制定。

その他

◆財産の取得

小学校校務用コンピュータ等の取得
 ・数量 1式
 ・取得予定価格 8千101万5千円

◆財産の取得

小学校コンピュータ教室用コンピュータ等の取得
 ・数量 1式
 ・取得予定価格 8千745万円

◆財産の取得

避難用車両の取得
 ・数量 2台
 ・取得予定価格 5千599万円

人事

◆次の件に同意

◎教育長に 佐々木 智さん（新任）

◎教育委員会委員に 荒井、由紀恵さん（再任）

意見書

第3回定例会において、議員提案された意見書4件を原案可決しました。

◆高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

◆太陽光発電の適切な導入

に向けた制度設計と運用を求める意見書

◆JR長都駅前への交番の設置を求める意見書

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

請願・陳情

第3回定例会において提出された請願1件、陳情1件を継続審査としました。

◆シルバーおでかけパスの利用時間拡大の請願書

・提出者 全日本年金者組合千歳支部
 ・支部長 平井 史郎
 ・付託委員会 総務文教常任委員会

◆千歳市内防犯カメラ設置に関する陳情書

・提出者 千歳市
 ・暴力追放運動推進協議会 会長 五十嵐 宏
 ・付託委員会 外8団体
 厚生環境常任委員会

千歳市議会議員会

全国交通安全運動

～セーフティコールへの参加～

千歳市議会議員会は、交通事故の無い、安全で安心な社会の実現を願い、秋の全国交通安全運動にあわせて実施されている街頭啓発「セーフティコール」に参加しました。



令和元年9月24日（火）
 ≪JR千歳駅前付近の中央大通≫

各委員会の活動状況

7月～10月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



総務文教 常任委員会

▼7月22日(月) 13時
市役所本庁舎耐震等改修工事の所管事務調査を報告済みとした。

▼7月29日(月) 13時
消費税増税に伴う市内路線バス運賃改定の概要を含む6件の所管事務調査を報告済みとした。

▼9月10日(火) 11時30分
千歳市消防団条例の改正(案)の概要を含む15件の所管事務調査を報告済みとした。

▼9月18日(水) 13時
千歳市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第3回定例会付託議案7件を原案可決とし、千歳市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定についてを継続審査とした。また、平成30年度行政評価結果の概要を含む3件の所

管事務調査を報告済みとし、令和元年度行政視察について決定した。

▼10月1日(火) 本会議終了後
請願第2号「シルバーおでかけパスの利用時間拡大」の請願書について協議し、継続審査とした。

▼10月15日(火) 本会議終了後
キウス周堤墓群の現地調査を実施した。



厚生環境 常任委員会

▼7月31日(水) 13時
平成30年度指定管理者モータリング結果報告を含む4件の所管事務調査を報告済みとした。

▼9月11日(水) 11時
千歳市印鑑登録及び証明に関する条例の改正(案)の概要を含む10件の所管事務調査を報告済みとし、J

R長都駅前への交番設置を求めることについてを協議した。

▼9月18日(水) 13時
千歳市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第3回定例会付託議案5件を原案可決とし、令和2年度における保育定員の拡大に係る公募型プロポーザルの結果について報告済みとした。

▼9月30日(月) 本会議終了後
令和元年度行政視察について決定した。

▼10月15日(火) 本会議休憩中
千歳市内防犯カメラ設置に関する陳情書を継続審査とした。



産業建設 常任委員会

▼7月29日(月) 13時
千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念事業概要の報告を含む5件の所管事務調査を報告済みとした。

▼8月6日(火) 13時
令和元年度農作物生育状況調査を実施した。

▼9月11日(水) 10時
令和元年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要(建設部所管分)を含む10件の所管事務調査を報告済みとした。

▼9月18日(水) 13時
千歳都市計画土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例の制定についてなど、第3回定例会付託議案2件を原案可決とし、企業誘致状況の所管事務調査を報告済みとした。令和元年度行政視察について決定した。

▼10月10日(木) 決算特別委員会終了後(仮称)千歳市工場立地法準則条例の概要を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。



議会運営 委員会

▼7月26日(金) 10時
第2回臨時会の議事運営についておよび議会改革について協議した。

▼9月4日(水) 13時
議会改革について協議した。

▼9月13日(金) 13時
第3回定例会の議事運営について決定し、請願の取扱いについて、意見書の提出についておよび議会改革について協議した。

▼9月25日(水) 11時
第3回定例会2日目の議事運営を決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼10月11日(金) 決算特別委員会終了後
第3回定例会最終日の議事運営について決定し、陳情の取扱い、意見書の提出についておよび議会改革について協議した。

問 市の業務を企業に委託する場合に認められる一般管理費が、非営利団体が市民協働事業で委託された場合、認められていない。市が行うべき業務の性格が強い施設管理等の市民協働事業は、補助金ではなく委託

市民協働事業における補助金のあり方



ちとせの未来を創る会
松隈 早織 議員

事業とするなどの見直しを行い、わずかなりとも一般管理費を認めていくことについて所見を伺う。

答 市長 本市における協働事業は、市民や市民活動団体などが主体となり、自らの知識や得意分野を発揮し、市と協力して地域の課題解決を図るものと認識しており、協働団体の皆様にはボランティア精神を発揮して活動し、活躍していただいております。そのことに対して、私として感謝している次第である。また、市が主体となって行う行政

問 中高年のひきこもりが長期化・増加し、悪意のある偏見や誤解も増え、当事

ひきこもりに対する支援対策

事務を民間事業者へ委託する事業とは異なることから、協働事業補助金として交付している。この協働事業補助金の補助対象には、委託料や工事請負費などで計上している一般管理費は認められていないが、事業に直接必要な経費は、今後も団体の申請に基づき精査のうえ補助していく。

道内では、昨年度、札幌市が無作為抽出した1万人を対象に調査を実施しているが、全国的に統一した調

答 市長 ひきこもりの実態調査について、国では平成30年度に40歳から60歳までの年齢層を対象としたひきこもり調査を実施し、推計で61万3千人と発表している。

者がますます相談しにくく、孤立する状況にある。当事者にどのような支援が必要か実態を把握し、本質的な支援に結びつけるべきと考えるが所見を伺う。

ひきこもりの方は、複合的な課題を抱えているケースが多くみられることから、今後さまざまな相談を受ける中で把握に努め、関係機関との連携を図りながら必要な支援を行っていく。

市政について の質問

今定例会では、9月26日、30日、10月1日、2日の4日間、各会派等からの一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

- ☆ちとせの未来を創る会
 - 松隈 早織 議員
 - 小林 千代美 議員
- ☆日本共産党
 - 吉谷 徹 議員
- ☆無所属
 - 落野 章一 議員
- ☆自民党議員会
 - 松倉 美加 議員
 - 大山 益巳 議員
 - 岩満 順郎 議員
 - 香月 正 議員
 - 岡部 いづみ 議員
 - 飯田 盛好 議員
- ☆公明党議員団
 - 今野 正恵 議員
 - 仲山 正人 議員



ちとせの未来を創る会
小林 千代美 議員

アイヌ施策推進地域計画

問 アイヌ施策推進法に基づき、本市においても、アイヌ施策推進地域計画が策定された。千歳市に住むアイヌの方々の文化が復活され、民族の誇りを持って生活できる基盤が整備され、市民の間にアイヌ文化についての正しい理

解が広まることが望まれる。市の地域計画の目的および今後の方向性について伺う。

答 市長 地域計画に掲載した千歳アイヌ文化観光客受入環境整備事業は、アイヌの方々、自らの文化を発信するスキルの向上につながり、千歳アイヌ文化の伝承活動を、国内外の観光客に知っていたただく効果が期待できる。また、千歳アイヌ文化国際交流事業は、千歳アイヌ協会および千歳アイヌ文化伝承保存会会員の若い世代が、自らの文化に誇りを持ち、継承・発展を担う人材の育成が期待できることから、いずれも

政策・方針決定過程への女性の参画

問 政府の第3次男女共同参画基本計画に、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標がある。昨年、政治分野における男女共同参画推進法が施行され、各自治体においても、政治への女性の参画を推進するための責務が課されている。本市における

取組を伺う。また、市の審議会やそれ以外の各種会合においても女性の参画をさらに進めべきと考えるが、所見を伺う。

答 市長 男女共同参画推進法において、地方公共団体は、実態調査および情報収集等、啓蒙活動、環境整備、人材の育成等に必要施策を実施するよう努めることが規定されている。市は、第3次ちとせ男女共同参画プランを着実に推進し、行政としてできる有効な施策について、議会とも相談しながら検討していく。市の政策形成に深く関わる審議会等に、男女が共に参画

し、それぞれの立場・視点から多様な意見が反映されることは大変重要なことと考えており、男女共同参画社会の形成の促進に向けた意識啓発を繰り返し実践し、多くの市民と協働しながら、総合的な施策として推進していく。また、庁内検討会などの委員構成は、職員の男女比から男性の比率が高まる傾向にあるが、平成23年度から導入したタスクフォースなど、若年職員や女性職員を含め、多様な意見を施策に反映させる体制を整えてきたところであり、今後もこの取組を充実していく。



日本共産党
吉谷 徹 議員

新千歳空港の今後のあり方

問 空港従事者に関し、労働環境が守られるのかは、空港の今後の大きな問題である。そこで伺う。①一括運営委託の提案概要資料に示された位置では、ホテル・従業員施設の新設地は遠くないか。空港ビルに近づけた場所にて

きないのか。②喫食、休憩スペースの問題について、平成28年度答弁で国への要望状況を回答しているが、その意向をこれまでの交渉や審査の場で伝えているのか伺う。

答 市長 ①ホテル・従業員施設について、先般、公表された提案概要は、提案書の一部のみであることに加え、新設や増設施設の配置などについても、現段階におけるイメージであると聞いており、詳細は明らかにされておらず、現時点での対応は考えていない。②空港の一括運営委託に関する交渉や審査にお

ける内容は、公表できないとされているが、ターミナルビルを運営する新千歳空港ターミナルビルディング株式会社からは、空港従業員がより働きやすい環境に整備するため、入居者および関係団体と協調し、航空会社や商業テナントなどを管理する専門部門を中心に、空港従業員の便益の充足に向けた対応に積極的に取り組んでいると聞いている。

問 千歳市アイヌ施策推進地域計画
現状では要望の内容が

達成まで到達するか厳しく感じ、2年目以降の活動が重要となると捉える。将来的に樹木の伐採利用以外に植林の意向も千歳アイヌ協会から示されているが、市は国と協議して植林等を可能にする働きかけを考えているのか。また、次年度以降、千歳アイヌに関する担い手、人材育成をどうしていくのかの見解を伺う。

答 市長 地域計画では、国有林野の林産物を採取して、アイヌ文化の維持および次世代への継承を図ることとしており、これまで石

狩森林管理署と協議を行い、地域計画の内容について了承が得られている。樹木の植林等については、林産物の採取と同様に、国に対して植林等を可能にする働きかけを行っていく。

次年度以降の人材育成について、中核組織としての法人の設立等と併せ、アイヌ語やアイヌ料理の文化伝承者の育成などの具体的な方策や、市として取組可能な事業について、アイヌ協会の意向も確認しながら、よく検討していく。

問 次について伺う。①市内回遊の軸となるグリーンベルトをコンテナ型ショップの設置など、商業の振興と新たな情報の発信拠点として活用する考え。②ダンス練習の利活用のため、地下駐車場の吸排気塔などの

グリーンベルトの活用



自民党議員会
松倉 美加 議員

答 市長 ①新たな商業スタイルや情報発信拠点としてのグリーンベルトの活用について、ご質問のコンテナ型ショップなどの設置は、グリーンベルトに多くの観光客や市民が行き交い、回遊性が生まれることが期待でき、新たな商業振興・観光振興の拠点になりうるものと認識している。このよ

壁面への鏡の設置、東雲町かいじゅう広場の多目的広場へのバスケット・ミニサッカーゴールの設置など、利用者の楽しみを高めていく考え。

空港・向陽台地区間のアクセス

問 新千歳空港の周辺整備

対応を検討していく。

うな取組は、事業者や民間事業者における展開が望ましいと考えることから、今後、事業者等と連携を図りながら、よく調査研究していく。②グリーンベルトの中高校生などの利活用について、つどいの広場などでダンスの練習やスケートボードなどの遊びが行われており、さらなる利用促進に向けニーズを把握し、今後の

答 市長 向陽台地区から市街地への交通アクセスは、公共交通機関としては路線バスが主要な交通手段であり、現在、平日の通勤通学

の計画を見ると、空港南側へと広がって行く予定であり、また、苫小牧側ではIR構想も練られている。空港や苫小牧との近接性を生かした向陽台地区の価値を高めるチャンスであると考え、向陽台を軸に、千歳駅や苫小牧側を結んだ周遊アクセスを含めたまちづくりを再考すべきではないか。

今後、SPC（特定目的会社）による新千歳空港の事業計画や近隣自治体の動向を注視しながら、空港を核としたまちづくりを進めていく。

時間や昼間においては、千歳駅方面または市民病院方面へ20分から30分間隔で路線バスが運行している。また、千歳駅から新千歳空港までの交通アクセスとしては、JRや複数の路線バスが運行しており、向陽台地区から新千歳空港までのアクセスは確保されているものと考えている。

問 子育てのもっともリアルな部分であり、憐憫の思いも非常に強くなる。2点を伺う。①前年度に市内で児童虐待とされた件数と内訳。②48時間ルールというのがある。全国では、過去1年間に通報を受けたケースの

児童虐待



無所属
落野 章一 議員

答 市長 ①平成30年度の児童虐待件数は145件で、うち心理的虐待が88件、身体的虐待が36件、育児放棄が21件となっている。②平成30年7月から令和元年6月までに、北海道中央児童相談所と市が虐待通告を受けた195件のうち、48時間以内に子どもを直接目視できなかった事例は1件あった。この原因は、通告を受けた児童相談所と市の家庭児童相談

8%でこのルールが守られなかった。千歳市ではどうか。守られなかったケースがあれば、原因は何か。

問 災害時の情報伝達は文字通り生命線だ。①千歳と恵庭が共に発展へという連携施策がある。千歳にはな

災害情報の伝達

安全は確認されている。

室が連携し、直ちに市内の関係機関に安全確認の調査依頼を行い、複数の機関が家庭訪問等を行ったが、いずれも不在であったため、48時間以内に直接目視による安全確認ができなかったものである。なお、その後の関係機関の家庭訪問により、子どもの安全は確認されている。

答 市長 ①恵庭市と締結した覚書に基づく連携推進計画に、地域FMによる情報発信の可能性を想定事業として位

が所見を伺う。

けて恵庭にはある地域FMの可能性はどうか。②第7期総合計画作成のため実施した市民アンケートの意見では、「防災行政無線は、何を言っているのか全く分からない。なんとかならないか」という意見が多いことにびっくりする。災害時の情報伝達手段は多様化しているが、各手段の役割について、市民に十分に理解してもらわなければならない

さまざまな機会を通じて繰り返し説明を行っていくとともに、広報ちとせや防災ハンドブックに新たに掲載するなど、丁寧な周知を図っていく。

置付けている。今後、放送事業者や恵庭市と意見交換を行い、関係法令や電波の状況、費用などの研究を進め、どのような放送が可能なか調査していく。②防災行政無線やメール配信サービス、ホームページ、災害用SNSなど、多種多様な情報伝達手段の確保に努めており、これら情報伝達手段の詳細は、市民防災講座や千歳字出前講座など、



自民党議員会
大山 益巳 議員

支笏湖観光振興

問 次について伺う。①震災から1年が経過した支笏湖地区入り込み客数などの現状。②苔の洞門の再開に向けた今後の方針。③支笏湖満喫プロジェクトの推進協議会で課題としている、バス二次交通確保の必要性。

④宿泊滞在数を増やすため、支笏湖畔第5駐車場へのオートキャンプ場の設置。

答 市長 ①支笏湖地区の入り込み客数は、震災後速やかに元気な支笏湖、元気な千歳をPRする動画を配信したことや、北海道ふっこう割の効果もあり、11月には、前年同月比で約12%の増加に転じ、現在まで増加傾向で推移している。②苔の洞門は、専門家等から日常的に岩盤崩落の危険性があり、一般の立ち入りは避けるべきであると指摘されており、苔の洞門運営

協議会で、今後の方針を決定する。③二次交通は、観光客を誘客するための大変重要な課題と認識しており、国立公園支笏湖運営協議会や地域の観光事業者および市が情報を共有し、二次交通の充実を検討する。今後、市として、バス事業者や地域、市等の関係者で最適な方法を検討していく。④当該地は、駐車場や氷濤まつりの会場となっており、地域や観光客のニーズもないことから、現時点でオートキャンプ場としての活用は考えていない。

屋内スポーツ施設の増設

問 交流人口の拡大、スポーツ合宿・大会の誘致等の推進が成功の道を進むのであれば、屋内競技場の施設が足りなくなっていくのではないかと考える。財政的な課題もあるため、今すぐに新設することはできないと認識しているが、今後の必要性の検討について伺う。

答 市長 スポーツ合宿・大会等の誘致を進めるに当たっては、既存のスポーツ施設を有効活用しながら取

り組むこととしており、市民が安全に利用できるよう、既存施設の修繕や改修を最優先に取り組んでいる。新たな施設の整備は、大会の開催状況や関係団体の意見、市民ニーズなどを踏まえる必要があるが、現状において、具体的な計画は持っていない。

道路の安全と安心



自民党議員会
岩満 順郎 議員

問 次について伺う。①安全な交通を確保するための道路の維持管理。②過去3年間の市内の道路で発生した交通事故の件数と交差点での交通事故の件数。③交差点内路面の進行方向を示す矢印の維持管理の状況。

④損傷が激しい生活道路の箇所とその整備状況。⑤大和地区および桂木地区の整備の計画について。

答 市長 ①道路利用者の安全を確保するため、パトロールなどで発見した道路上の支障物の撤去や舗装の穴埋め、段差などの解消を行っているほか、区画線や街路灯などの道路施設の状態を確認し、必要に応じて、再設置や更新を行っている。②千歳警察署が発表している交通事故件数は、平成28年は169件、29年は173件、30年は170件であり、

このうち、交差点における事故件数は、28年は94件、29年は79件、30年は87件である。③市道の路面標示は、劣化度や交通量などを総合的に判断して優先順位を定め再設置を実施しており、進行方向を示す路面標示は、平成29年度に30号通や北新通、7線大通、真町泉沢大通など、市内11力所の交差点で実施した。④市が管理する生活道路のうち、整備が必要な道路は35・2キロメートルで、劣化度、通学路、交通量などを総合的に判断して優先順位を定め、計画

的に整備を進めている。平成30年度は、北栄地区、豊里地区、北斗地区など、約1・6キロメートルの整備を実施した。⑤大和地区においては、整備が必要な道路は約1キロメートルで、今年度から、春日町地区を含む林東公園からスポーツセンター入口までの約0・8キロメートルの整備を、3年間で実施する予定である。桂木地区においては、整備が必要な道路は約2・4キロメートルで、今年度、千歳病院近くの市道約0・2キロメートルの調査設計を行い、

来年度以降に整備を実施する予定である。また、両地区の整備が必要な残りの道路は、優先順位を検討し整備を進め、整備までの間、路面の劣化状況に応じて、穴埋めやパッシングなどの補修を行っていく。

問 ①想定外の災害が起きている現状で、災害用備蓄品として乳児用ミルクは欠かせない。現在は粉ミルクを備蓄しているが、電気やガスが使えない最悪の事態を考えた時、そのまま飲ませることが出来る液体ミルク

液体ミルクの備蓄と他市との協定



自民党議員会
岡部 いづみ 議員

答 市長 ①液体ミルクの備蓄について、国は、災害時の備えとしても活用が可能な製品として、普及に向けた取組も進めている。このことから、普及状況や管理上の課題等について調査・研究を進め、備蓄に向けた検討を行っていく。②液体ミルクの備蓄について近隣

クと、その容器として使い捨て哺乳瓶の備蓄が必要と考えるが所見を伺う。②他市と協定を結び、液体ミルクと使い捨て哺乳瓶の備蓄が必要であると考え、所見を伺う。

問 10時から16時の間に利用できるバスの高齢者100円運賃を設け、高齢者の外出を促している。しかし、高齢者が病院に行く

高齢者100円運賃の利便時間拡大

市に確認したところ、現時点では、本市と同様に備蓄していない状況である。液体ミルクの備蓄は、検討の段階であることから、必要とする事態となった場合には、民間事業者と締結している協定などに基づく、優先供給のお願いをしていく。

答 市長 千歳市交通戦略プランでは、令和2年度に高齢者を含めた市民ニーズを把握するアンケート調査を実施する。

今後、アンケート調査を行い、高齢者の意見を集約して利用時間の拡大に向けた検討を行っていただきたいと考え、所見を伺う。

シルバーおでかけパスは、

10時から16時までの時間を利用して乗客を増やすとともに、高齢者のお出かけのきっかけづくりを目的として実現した。利用時間帯の拡大は、アンケート調査や乗降調査で利用状況の実態把握に努め、今後の在り方について調査・研究を行っていく。

問 ①千歳市の投票率が、毎回右肩下がりに低下する傾向が続いている現状をどのようにとらえているか。②今年の参議院議員選挙で、日本航空専門学校に1日限定の期日前投票所が設置されたが、今後、期日前投票所の

投票率向上施策



自民党議員会
香月 正 議員

設置を拡大できないか伺う。①投票率の低下は、国民の権利を行使しない市民が多くなっているということであり、選挙の結果として市民の民意が十分反映されているのか、ひいては民主政治の健全な発達を期せないのではないかと懸念を覚える。選挙管理委員会としては、主権者として自らの意志を示す重要性について啓発を続けていくとともに、投票環境の整備についても順次取り組んでいきたい。③期日前投票所は、人員の

確保や執行経費の予算調整のほか、施設の使用承諾とスペースの確保といった課題の整理が必要となるが、条件が整えば、次回の衆議院議員総選挙または令和4年7月執行予定の参議院議員通常選挙での開設拡大を目指していきたい。

問 来春から、1時間当たりの発着枠が42枠から50枠に拡大することになったが、北海道から事前調整があったのか。もし、事前調整を受けて

新千歳空港

確保や執行経費の予算調整のほか、施設の使用承諾とスペースの確保といった課題の整理が必要となるが、条件が整えば、次回の衆議院議員総選挙または令和4年7月執行予定の参議院議員通常選挙での開設拡大を目指していきたい。

答 市長 発着枠の拡大は、空港の活性化や需要の拡大の観点から北海道知事が国に対し要望したもので、事前調整は受けていないことから、市の担当部署から北海道に対し、事前調整が必要であったことを申し入れたほか、私自身も知事と面談し、新千歳空港の所在自治体に説明がない中で、知事の要望は、地元

市は、昨今の新千歳空港の活性化を鑑み、今後、50枠を超えて追加的に発着枠が必要となる場合が想定されることから、検討に当たっては、新千歳空港が軍民分離の民間専用空港として誕生した歴史的背景と、市民生活への影響に懸念がある点を踏まえ、発着枠増は、民航機専用である新千歳空港側で対応すべきという趣旨から、要望の中に盛り込んだところである。

対する騒音加重の影響を踏まえた対応など、地元への十分な配慮が必要であった旨、直接、申し上げた。

市は、昨今の新千歳空港の活性化を鑑み、今後、50枠を超えて追加的に発着枠が必要となる場合が想定されることから、検討に当たっては、新千歳空港が軍民分離の民間専用空港として誕生した歴史的背景と、市民生活への影響に懸念がある点を踏まえ、発着枠増は、民航機専用である新千歳空港側で対応すべきという趣旨から、要望の中に盛り込んだところである。



自民党議員会
飯田 盛好 議員

道路行政

問 ①市内には、標識・表示の設置されていない地区があるが、要望しても二十年以上設置されない理由を伺う。②大和の指宿公園付近の交差点には危険な箇所があり、子どもたちの生命を守るためにも、通学路に

は優先して標識・表示を設置してほしいが考えを伺う。
答 市長 ①交通規制標識等の設置は、自治体等の要望を受け、管轄する警察署、警察本部または方面本部で調査を行い、必要と認められる場合は北海道公安委員会の決定により整備される。市は、毎年度、交通規制等要望を実施しており、要望箇所数は年々増加傾向にある。設置に至らない個々の理由は明らかにされておらず、要望の実現は非常に厳しい状況にある。②交通規制等の要望は、多くの団

体等から寄せられており、公平性の観点から、優先順位をつけずに要望してきた。また、私が会長を務める北海道市長会の要請書の中で、昨年に引き続き、児童生徒の通学路等に係る安全確保に資するものの速やかな設置を要請したところであり、要望の優先度を定めることは難しいが、今後も粘り強く要望活動を継続していく。

子育て支援

問 今年の夏は、北海道でも高温多湿であり、特に子

どもは体温調節機能が未成熟で、保育士等は懸命に対応しているものの限界がある。また、次年度以降も高温多湿が続く可能性があることから、学童クラブ、児童館への空調機器エアコン等の設置について考えを伺う。
答 市長 熱中症防止に關しては、国の通知や手引きなどに基づき実施しており、各児童館・学童クラブの全室に複数台の扇風機を設置しているほか、職員が気温や湿度をこまめに確認し、児童一人一人の体調に注意を払いながら、水分補給の

呼びかけや休憩時間の設定を行い、屋外で遊ぶ場合には、日陰で休ませるなど配慮している。また、夏休み期間中は、水遊びや近隣のプールに出かけるなど、児童が楽しみながら涼しく過ごせるよう工夫し、熱中症対策に取り組んでいる。現時点では、エアコンを設置する計画はないが、国の通知や補助事業等の動向を注視するとともに、各施設の状況把握に努め、熱中症の防止に向けた取り組みを行っていく。



公明党議員団
今野 正恵 議員

学力向上施策

問 公立小学校に通う児童の家庭の学習費のうち、塾や習い事の費用を含む学校外活動費は全体の約7割、公立中学校でも約6割に達し、家計に占める割合は大きい。経済的に厳しい家庭の子どもほど学習塾や習い事に通え

る機会が限られ、教育格差は放課後に生まれるとも指摘されている。
そこで、塾や習い事の経済負担の軽減と、子どもの学力向上を目指し、教育クーポンの導入を検討してはいかがかと考えるが、所見を伺う。
答 教育長 教育クーポンの導入は、現在のところ予定していないが、学力向上の取組に加え、土曜授業の実施、学生の協力による学習サポート事業や電子学習システムe・カレッジの活用、外国人英語指導助手による中学校外国語サポート事業、

ボランティアを活用した放課後学習の実施、ちとせ学習チャレンジ塾の学習支援など、多様な施策に取り組み、今後もすべての児童生徒に対して、学力や学習意欲の向上を図り、個性や才能を伸ばす環境づくりと機会の創出に努めていく。

産後ケア事業

問 令和元年7月から、市直営の訪問型産後ケア事業を外部に委託し、訪問型が1カ所、デイサービス型が2カ所に増え、より多くの方に利

用していただけるようになった。そこで、次の3点について伺う。①現時点の登録数と利用数。②利用者の声。③宿泊型を設置する考え。
答 市長 ①登録数は、産前の方を含め35名、利用実績はデイサービス型が7組、訪問型が9組で、合わせて計16組である。②デイサービス型では、「体調が優れない時にも母体の休養時間があるので、安心して利用できる」、「家庭的な雰囲気の中で食事提供があり、実家で過ごしているようで落ち着く」などの感想をいただいている。訪問型では、

「授乳や泣きの対応などに戸惑い、寝不足で心身ともにへとへとになっている中で、赤ちゃんのかわり方や授乳の技術を具体的に丁寧な教えてもらい、育児の細かいノウハウを知り自信がついて助かった」、また、「定期的に乳房ケアをしてもらい、乳腺炎を予防できてよかった」などの感想があった。③現時点では、市内に宿泊型に対応する医療機関や助産施設がないことから実施に至らないが、広域で宿泊型の受入れが可能な施設等を調査するなど、継続的に検討していく。

決算特別委員会

質疑

質疑委員

平成30年度一般会計、
6 特別会計決算および3
企業会計決算を審査する
ため、議長と監査委員を
除く21人の委員で構成す
る「決算特別委員会」を
設置しました。

この特別委員会では、
10月7日から10月11日の
期間に付託案件に対する
質疑を行いました。

審査の結果は、第3回
定例会の最終日に報告さ
れ、認定しました。

ここでは、10人の委員
が行った質疑の一部を掲
載します。

☆ちとせの未来を創る会

・ 渡辺 和雄 委員
・ 北山 敬太 委員

☆日本共産党

・ 吉谷 徹 委員

☆自民党議員会

・ 松倉 美加 委員
・ 岩満 順郎 委員
・ 坂野 智 委員
・ 山口 康弘 委員
・ 末村 友幸 委員

☆公明党議員団

・ 仲山 正人 委員
・ 平川 美由紀 委員



ちとせの未来を創る会

渡辺 和雄
委員

スクールゾーン整備事業費

問 市街地の拡大や新設の小中学校の開校により、新たにスクールゾーンの路面標示や路面標示の移動が必要になることもあると考えるが、その場合の調査・決定等は、どのような手順で行っているのか伺う。

答 市民環境部長 市が設置している千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会において、道路管理者である北海道開発局、北海道札幌建設管理部、市の建設部をはじめ、千歳警察署、千歳市町内会連合会、千歳市教育委員会、PTA連合会、校長会などをメンバーとする通学路交通安全対策専門部会の中で、通学路における児童の交通安全の確保に向けた取組として、学校等から出された意見に基づき危険箇所などを確認し、対策を検証していただく合同点検を毎年度実施している。

スクールゾーンもこの点検の対象となっており、ゾーンを新たに設置する場合や、標示の移動について必要が生じた場合などは、この専門部会において協議を行い、意見を聞きながら決定している。



ちとせの未来を創る会

北山 敬太
委員

不納欠損処分と収入未済額

問 平成30年度決算では、一般会計で1億6千7百万円もの多額の不納欠損処分が行われたが、一切報告がなされていない。不納欠損処分が行政による「債権の放棄」という側面を持つ以上、速やかに議会に報告する道義的責任があるものと感ずるが、その理由について明確にご説明願いたい。

答 総務部長 市税などの強制徴収公債権は地方税法等、非強制徴収公債権および私債権は、地方自治法、地方税法および市の債権の管理の適正化を図ることを目的として制定した千歳市債権の管理に関する条例等の関係法令に基づき、適正に事務処理を行っている。また、不納欠損処分の結果は、各会計歳入歳出決算事項別明細書にて報告し、決算特別委員会で審査いただいている。

不納欠損処分は、条例では議会への報告義務を定めていないが、市税などの債権は貴重な財源となり、これらを徴収し適正に管理することは、市民負担の公平性の確保と円滑な財政運営にとって必要不可欠であり、他市では議会に報告している事例がある。

今後、不納欠損処分の報告について検討し、平成30年度については、決算特別委員会の中で資料を提出する。



日本共産党
吉谷 徹
委員

プレミアムリフォーム券発行 事業費

問 平成30年度で事業終了したが、市民から好評であったと聞く。①この事業に対する市民の声の詳細を伺う。②市民からよく受け止められていた点も考慮し、代替となる事業がされてはと思うが、今後の考えについて、現状の見解を伺う。

答 建設部長 ①市民から寄せられた意見としては、リフォーム工事を決心するきっかけとなったとの意見や、抽選とはいえ、多くの市民に還元されることは望ましいなど好意的に受け止められている意見が多かったが、プレミアム感がなく、もう少し購入限度額を引き上げた方がよいとの意見や、継続して実施してほしいなど、制度の見直しや事業継続を求める意見も寄せられている。

②今後のリフォーム支援については、直ちに補助金による支援を実施することは考えていないが、今後、市内経済対策が必要と判断された場合などには、新たな施策展開の必要性などについて、関係機関と協議し、検討していく。



自民党議員会
松倉 美加
委員

千歳駅市民サービスセンター 廃止に伴うサービス

問 戸籍や住民票、印鑑証明などの証明書がコンビニで発行可能となったことに伴い、千歳駅のサービスセンターが廃止になった。センターを利用して約2万5千件がコンビニに移行するためには、マイナンバーカードの普及が必須である。目標保有率を高める施策と窓口混雑時の緩和策を伺う。

答 市民環境部長 国は、令和4年度までに、ほぼ全ての国民がマイナンバーカードを保有することを目指しており、その普及のため令和2年度以降に、キャッシュレス決済に伴うポイント付与を行うことや、令和3年3月からは、マイナンバーカードの健康保険証としての利用を行うこととしている。市も、次年度以降、企業や学校等への出張申請を行うことも検討しており、カード保有率の目標達成に向け取組を進めていく。

窓口混雑時の緩和策として、来年度の3月末から4月上旬にかけての異動による繁忙期には、通常3つの窓口で対応している転居対応を、2倍の6か所として対応することを予定している。



自民党議員会
岩満 順郎
委員

道路施設事業費

問 計画に基づき街路灯の整備を本年度も行ったと報告を受けたが、その内容を伺う。①平成30年度の整備内容とその成果。②工事の施工時期について、施工時期を前倒して、早い時期から施工できるように検討していただきたいが見解を伺う。

答 建設部長 ①社会資本整備総合交付金を活用し、向陽台地区の街路灯31基、調整交付金を活用して、桜木地区、末広地区などの22基、合計53基の更新工事を実施した。②平成30年度の街路灯更新工事は、9月に2件、10月に1件発注し、各工事の工期は平均4カ月程度である。③当該工事は現場が小規模で、降雪後も施工が可能であり、舗装工事などとの工期の重複を避け、工事作業員と交通誘導員の確保が円滑となるよう取り組んでいる。道路施設修繕事業で実施している街路灯更新工事は、国の交付金を活用しているため、補助事業の手続きから工事を年度当初に発注することは難しいが、違う財源を活用するなど、一部の工事を年度当初に発注できるように検討していく。



自民党議員会
坂野 智
委員

有害鳥獣駆除費・クマ防除経費

問 増え続ける野生動物と、その被害、さらに、危険が伴う駆除・防除の現場は猟友会である。単なる発砲だけではなく、罠なわの捕獲物の処理も行い、命を捕ると世間の白い目もあるが、それでも仕事を休んで出勤している。加えて、銃の所有や資格の維持で経費も手間もかかる。これらを適正に評価し、補助金、出役費、報酬を見直すべき。所見を伺う。

答 産業振興部長 クマ防除について、近年は、警戒心が希薄で人を恐れないヒグマの出没が各地で相次いでいる。また、隊員の高齢化や担い手不足など、隊員の確保も課題となっている状況から、隊員の現地での活動内容に見合った出勤報酬のあり方について、他の自治体の状況を参考にしながら検討していく。

また、有害鳥獣駆除にかかる補助金は、道央農業協同組合に対して事業費の2分の1以内を交付しているが、同組合が主体となり実施している事業のため、今後も、事業費の増額について同組合とよく協議していく。



自民党議員会
山口 康弘
委員

高齢者福祉サービス利用券助成事業費

問 次について伺う。①支給率と利用率。②サービス別の利用状況。③市民意向についての研究内容と結果。④サービスに対する市民意識調査の予定。⑤利便性だけ追及するだけでなく、高齢者が生き生きと生活できるようにパークゴルフなど健康の増進に繋がるサービス種目の追加の検討。

答 保健福祉部長 ①高齢者福祉サービス利用券の支給率は92・6％、利用率は88・3％となっている。②タクシー・ハイヤーが2千412万900円、公衆浴場が772万3300円、バスが739万1700円、理容・美容が527万5900円、温泉が15万9600円、あん摩・マッサージが15万500円となっている。③道内他市の情報を収集すると、対象のサービス種類の多さ、複数のサービスを共通の利用券としている点、一人当たりの支給額など、十分充実した制度であると考えている。④現時点はアンケート調査の予定はないが、必要な場合には、制度内容の見直しを適宜実施する。⑤現時点ではサービスを追加する考えはない。パークゴルフは、スポーツ等の健康管理を目的とした別の事業に該当することから、その制度の活用を案内する。



自民党議員会
末村 友幸
委員

敬老会開催事業

問 本市の75歳以上の人口は既に1万人を超え、さらに毎年300人以上増加しており、市主催の敬老会に参加できない方が圧倒的に多い。時代の流れは、一方的なお祝いからお互いが長寿と健康を確かめ合うことができる、顔の見える敬老会に移行している。事務事業評価では「見直して継続」となっているが、どのような見直しを検討しているのか伺う。

答 保健福祉部長 事務事業評価では、今後の方向性として、全市的な敬老会の開催を継続することは適切としながら、町内会など地域主体で開催することが主流となっており、企画運営を市提案型協働事業として実施することにより、特色ある事業を目指すものとしている。敬老会を市民協働により市民団体等が企画運営することで、市民の視点で高齢者を敬い、長寿をお祝いするための柔軟で効果的な企画運営が期待され、広報、関係機関との調整、会場確保、補助金交付などの役割を市と協働することで、敬老思想の普及を図り、さらなる福祉の増進につながるものと考えている。



公明党議員団
仲山 正人
委員

道路橋梁費

問 市民の生活インフラで重要である道路を、安全、安心して利用するための事業費であるが、道路の景観づくりで植栽されている街路樹等に対し、苦情や剪定の要望の声が多くある。特に、交差点付近の視界不良を改善することに對する要望が多い。現状の街路樹の維持管理状況と今後の適切な街路樹維持管理について伺う。

答 建設部長 低木街路樹の剪定は、年2回実施している植樹ます等の草刈りに合わせて実施しているが、樹木の成長状況を考慮し、剪定しない場合もある。また、市が管理する低木街路樹は約6万本あることから、剪定の本数までは把握していないが、道路パトロールで街路樹の剪定状況を確認し、剪定が必要な街路樹については、適宜、剪定を行っている。低木街路樹の管理は、原則として、千歳市街路樹等の維持管理に基づきしっかりと行っていくとともに、今後、交差点付近は車道面から60センチメートル、その他は80センチメートルの基準で、適切な低木街路樹の管理を行っていく。また、委託業者と情報の共有を図り、適切な街路樹の管理に努めていく。



公明党議員団
平川 美由紀
委員

市営住宅管理業務経費

問 祝梅団地の入居者が、敷地内の道路整備を指定管理者に依頼した際、道路から敷地内通路に入る所は修繕したが、住戸前の通路部分は、状態が悪いにもかかわらず修繕してもらえなかった。この他に、敷地内の整備に関してスピーディーな対応を望む声が多く聞かれるが、指定管理者に対してどのような要請をしているのか伺う。

答 建設部長 業務仕様書では、市営住宅の巡回・目視点検・処理、要望・苦情・相談等の処理、緊急対応を定め、平成31年4月から、毎月、全団地の敷地内を1回以上点検するよう業務仕様書の見直しを行っている。また、修繕実施要綱では、指定管理者が行う修繕の範囲を定め、入居者から相談を受けた場合、速やかに的確な対応を行うこととしている。今回、修繕を行わなかった部分は、修繕が必要な状況になかったためだが、通行に支障がある状況になった場合は、適正に対応を行う。今後、指定管理者と連携を密にし、業務仕様書や修繕実施要綱に基づき、適宜、適切な維持管理に努めていく。

「住み続けたいまち千歳」

第7回市民の声を聴く会

～グループトークテーマ～

- 投票率の向上について
- 子育て環境について
- あなたが思う千歳の観光

9月18日（水）に開催した市民の声を聴く会は、3つのテーマに分かれて、ワークショップ形式でグループトークを行いました。

当日は雨の降る中、13名の市民の皆さまにご参加いただき、市議会議員と活発な意見交換を行いました。

各グループの発表内容は、11月1日～11月15日の間、市役所第2庁舎に展示し、ご来庁された市民の皆さまにご覧いただきました。

《展示の様子》



これからも、皆さまからいただいたご意見を今後の議会活動に生かしてまいります。



《会場の様子》



議会事務局からのお知らせ

★議会の予定

令和元年第4回定例会は、12月2日（月）に開会する予定です。

正式な日程は、議会運営委員会の決定をホームページやポスターでお知らせします。

★ホームページのご案内

会議の出欠状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などをご覧になることができます。

ぜひアクセスしてみてください。

★表紙を募集しています！

「市議会だより」（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。

千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

（問い合わせ先）

千歳市議会事務局 総務課 調査係
TEL 0123-24-0791（直通）

★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、次のところまでお問い合わせください。



（問い合わせ先）

千歳市総合福祉センター2階
点字図書室 TEL 0123-27-3921

編集後記

市議会では、来年度から議員へのタブレット端末導入を検討しています。本会議や各委員会配布される資料がすべてタブレットに収められ、議員が議会内外でタブレットを活用して、市民の皆さんと情報の共有化、議会の可視化、信頼される市議会を目指します。

しかし、「猫に小判」「豚に真珠」「議員にタブレット」では税金の無駄遣いです。

一人一人の議員がこの機器を使いこなして、議員の情報活用やプレゼンテーション能力の向上により、興味・関心を持っていただく市議会を作ってまいります。

（副委員長 小林千代美）

議会報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 末村 友幸 |
| 副委員長 | 小林千代美 |
| 委員 | 飯田 盛好 |
| | 松倉 美加 |
| | 平川美由紀 |
| | 渡辺 和雄 |
| | 吉谷 徹 |

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。